

年 月 日

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「大腸癌における IZUM02 および IZUM02 関連分子の発現と機能の検討」への協力をお願い

消化器外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2009 年 1 月 1 日～2010 年 12 月 31 日の間に、消化器外科において大腸癌と診断され治療を受けられた 20 歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法：

近年、大腸癌の発生に寄与するメチル化関連遺伝子が報告され、その遺伝子の一つとして IZUM02 遺伝子が同定されました。また、IZUM02 遺伝子が大腸癌患者の予後予測因子になる可能性も報告されました。しかし、大腸癌における IZUM02 やその関連分子の発現や機能についての詳細な報告はありません。

本研究では、当院で治療を行った大腸癌の病理標本を用いて、IZUM02 および IZUM02 関連分子の抗原の発現を免疫組織化学染色法を用いて確かめます。本研究の成果は、同関連抗原の理解をさらに深め、新たな治療戦略開発に役立つと考えます。

研究に用いる試料・情報の種類：

研究対象とする期間の大腸癌の病理標本

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

患者評価項目

年齢、性別、診断名、TNM 分類、術前治療の有無・種類、術後補助治療の有無・種類、術後再発の有無、再発形式、術後再発後の治療、転帰（生存、死亡）、全生存期間

腫瘍学的評価項目

癌の占拠部位、壁深達度（T）、組織型、浸潤増殖様式、脈管・神経侵襲の有無、簇出、リンパ節転移（N）の有無、遠隔転移（M）の有無、切除断端における癌浸潤度、癌遺残、進行度分類（Stage）、化学（放射線）療法の組織学的治療評価

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：研究実施許可日以降から

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせ

わしてください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科
電話番号 058-230-6325（医局）
氏名：東 敏弥

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 形態機能病理学分野
氏名：竹内 保

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp